

■角屋七郎兵衛(栄吉)

鎖国化のなか、交趾安南国日本人町頭となり、国王一族と結婚するなど、異彩を放った松阪商人。

かどやしちろべえ

琉球使始・・・1610＝

室町時代に信濃国松本から伊勢国に移住し、代々大湊で廻船業を営み、本能寺の変に際して、領国に引き返す徳川家康を祖父が船で送り、松阪に移った後、朱印状を与えられて大発展した角屋の次男に生まれる。

徳川家康没・1616＝6歳：徳川家康の死去後も、特権は維持され、

菱垣廻船始・1619＝9歳：

・・・・・・1628＝18歳：

糸割符拡大・1631＝21歳：安南貿易に踏み出し、長崎から出発するが、

徳川秀忠没・1632＝22歳：

鎖国令Ⅰ・・・1633＝23歳：*最初の鎖国令で帰国が禁止されると、現地に留まることを決意、奉書船に物産を託して貿易を続けるも、

参勤交替始・1635＝25歳：この年、朱印船貿易が禁止となった後も、葵の船印にした角屋の船が日本国中を駆けめぐる。

東照宮完成・1636＝26歳：鎖国令の強化で、奉書船も禁止となり、貿易は勿論、文通も不可能になる。

島原の乱始・1637＝27歳：この間、*現地の王族阮氏から妻を迎え、男子も誕生。交趾日本人町の頭領となり、

寛永飢饉始・1640＝30歳：現地ツーラン近郊の蠟石山磨崖の碑に、寄進者の一人として名を刻み、

家光鎖国完成1641＝31歳：この年、鎖国政策が完成。

・・・・・・1646＝36歳：

徳川家光没・1651＝41歳：

・・・・・・1655＝45歳：

明暦の大火・1657＝47歳：

・・・・・・1664＝54歳：この頃、*通信が許されると、以後毎年、日本の親族に宛てて手紙と併せて貴重な物産も届けるとともに、兄弟を通じて、伊勢神宮や角屋の菩提寺来迎寺ほかの社寺へ寄進し、中国船に資金を融通して日本との取引も続け、

酒井忠清大老1666＝56歳：

・・・・・・1670＝60歳：現地に松本寺を建立してまもなく、

東西海運確立1672＝62歳：没した。